

キャプチャーデバイスを複数使用した場合の解説

本アプリケーションはデバイスを2台使用しての2画面のキャプチャーに対応しておりますが、複数のキャプチャーデバイスを接続する際は、必ずXCAPTURE-1 (USB3.0モデル)を2台ご利用ください。

ご利用のパソコンのCPUが第1世代Core i シリーズのお客様へ

CPUが第1世代Core i シリーズのパソコンをご利用のお客様は、USB3.0端子が無いため、本機を接続される際USB3.0のPCI Express 拡張ボードなどを用いてUSB3.0を増設している事と思えます。しかし、第1世代Core i シリーズ(Nehalem)に対応したintel社のチップセット(H55/H57/P55/Q57など)は、PCI Express スロットのx1 スロットがGen2 (Rev.2) 対応と明記されていても、実際には2.5Gt/s (Rev.1.1と同様)であるため、USB3.0の速度が得られない場合があります。

AMD社のCPUやチップセットをご利用のお客様へ

USB3.0ホストコントローラーの種類に関係なく、AMD社のCPUやチップセットを使用した場合動作が不安定になったり、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

パソコンの省電力設定とWindowsの電源プランの設定に関して

- パソコンのBIOSの設定でCPUの「C1E」機能が設定可能な場合は「オフ(Disabled)」に設定してください。「C1E」はCPUの省電力機能が働く際に処理能力がダイナミックに変化するため、安定したキャプチャー処理に影響する場合があります。
●サスペンドやスリープ機能使用時の完全な動作は保証いたしません。また、パソコンのBIOS設定でDeepSleepの設定がある場合は「DeepSleep(S4またはS4-S5)」を「オフ(Disabled)」に設定することをお勧めします。DeepSleepを使用すると、アプリケーションがシャットダウンするなどの症状が発生することがあります。
●安定動作のためWindowsのコントロールパネル内の「電源オプション」の設定を下記のように変更することをお勧めします。
1: 電源プランは「高パフォーマンス」に設定してください。機器との通信速度が向上し、fps値が向上する場合があります。
2: 「プラン設定の変更」でハードディスクの省電力設定「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」は「なし」に設定することをお勧めします。
3: 「プラン設定の変更」で「コンピューターをスリープ状態にする」の設定は「なし」でご利用ください。手動のスリープ操作もお勧めできません。
4: ご利用のキャプチャー機器がUSB接続の製品である場合(XCAPTURE-1など)、「プラン設定の変更」でUSBの省電力設定である「USBのセレクトティブサスペンドの設定」は「無し」に設定することをお勧めします。
5: Windows8では、より安定した動作でご利用いただくため、高速起動の設定をオフ(切)に変更することを推奨します。

推奨の電源設定(Windows8の場合)

コントロールパネル「システムとセキュリティ」→「電源オプション」→「電源ボタンの動作の変更」→「現在利用可能ではない設定を変更します」のリンクをクリック

- シャットダウン設定
高速スタートアップを有効にする(推奨)
(設定をオフ(切)にしてください)
スリープ
(設定をオフ(切)にしてください)

※コントロールパネルを標準の「カテゴリ表示」で操作する場合の設定方法です。

仕様上の制限

アナログRGB映像での表示位置のズレに関して

キャプチャーされた映像信号は、お客様側で表示位置や表示幅を調整することはできません。このため、入力信号の遅延などによって発生する画面の表示位置や表示幅のズレを改善できない場合があります。特にアナログRGB映像(パソコンのアナログRGB映像)をキャプチャーする際は、パソコンの世代やグラフィックボードの仕様の違いによって表示位置(キャプチャー時の画面位置)が大きくズレることがあります。現在、このズレを改善・調整することはできません。

著作権保護機能に対応する機器を接続する際の注意事項

Table with 2 columns: Device/Signal (e.g., WiiU, PlayStation3, Xbox360, Blu-ray, DVI-D, iPhone/iPad, Composite) and Note (e.g., HDCPが含まれるためキャプチャーできません, 著作権保護された映像はHDCPが検出されるためキャプチャーできません).

動作に不安定する制限

- 本機では下記の操作をするときとビデオキーパー2が正しく動作しないことがあります。
●ビデオキーパー2を使用中にそのパソコンの画面解像度を変更した場合、プレビューウィンドウのサイズがおかしくなります。
●キャプチャーや録画しながらメディアプレイヤーなどで、映像(特にCPU負荷が大きい物)を再生した場合、利用中のアプリケーションや、OSの動作が不安定になる場合があります。
●マルチディスプレイ環境で、ビデオキーパー2のプレビューウィンドウを最大化した状態で、プレビューウィンドウをドラッグし、ディスプレイ間を移動(プライマリセカンダリ)にさせると、移動中のディスプレイのサイズが継続されていきます。正しく表示させたい場合は、最大化を一旦終了するなどし、ビデオキーパー2に新しいディスプレイの解像度を再認識させてください。
●マルチディスプレイ環境で、録画中にプレビューウィンドウを「プライマリセカンダリ」または「セカンダリアプライマリ」の順に移動させると正常に録画を行うことができません。録画時にこの様な操作をしないでください。

録画に関する制限

- ビデオキーパー2起動直後は十分なフレームレート(fps)が得られない場合があります。
●他のアプリケーションでCPUの負荷が低下すると、フレームレート(fps)が低下することがあります。
●映像の遅延が大きい場合は、フレームレートの低下が発生することがあります。
●著作権保護の含まれる映像は表示と録画(キャプチャー)ができません。
●録画中に画面の解像度や表示された映像が自動的に終了します。特殊録画機能使用時は録画を継続できますが、解像度や表示された映像が自動的に終了します。インターレース映像とノンインターレース映像が交互に切り替わるゲーム映像を録画される際はご了承ください。特殊録画機能使用時は録画を継続できますが、解像度の違いによる画面の乱れが発生することがあります。
●ビデオキーパーの再生映像の様に乱れた映像信号の場合は、正しく表示・録画できない場合があります。録画が自動的に終了することがあります。
●録画される動画や静止画のAspect比は固定です。Aspect比を2倍に保存されます。
●アプリケーションで表示されるfps数はフレーム換算で表示されるため、インターレース(480p/1080p)映像は最大30fps、PALの場合は25fpsと表示され、ノンインターレース(プロGRESSIV 480p/720p/1080p)は最大60fps/60PALの場合がありますと表示されます。
●本製品の映像処理はYUY2という方式を使用しています。このため、色の再現性はRGB方式に比べると低くなります。YUY2方式でカラー指定がある場合、水平方向に2ピクセルで1色指定の再現性があります。このため、例えば主に表示領域で文字(白以外のテキスト文字)などを表示される場合、綺麗な文字表示ができない場合があります。
●USB3.0ケーブルを挿したり、デバイスを増設した場合は再起動を推奨

すでに本機やドライバーをインストール済みで、一旦XCAPTURE-1を取り外して、再度USB3.0端子に接続を変更した場合、または本機を追加で複数増設した場合は、Windowsがすでにインストールされたドライバーを自動で使います。その際、必ずパソコンを2回再起動することをお勧めします。1回目の起動では、ドライバーはインストールされませんが、ドライバーの設定が正しく初期化された状態になります。2回目の起動では、ドライバーはインストールされ、動作が不安定になったり、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

VideoKeeper2

ビデオキーパー2は、弊社製キャプチャーデバイスで映像と音声をキャプチャーするためのアプリケーションです。

利用可能なキャプチャー製品

本ディスクに含まれるドライバー、アプリケーションは弊社下記製品に対応しております。CD-ROMをパソコンの光学ドライブに挿入した後、インストーラーが自動で下記機種を判別し、ドライバーとアプリケーションが自動でインストールされます。

USB3.0モデル

- XCAPTURE-1

動作に必要な必須環境と推奨環境に関して

ビデオキーパー2をご利用になるためのパソコンの必須環境と推奨環境は、取扱説明書(ハードウェア編)に記載の必須環境と推奨環境となります。なお、必須環境と推奨環境は対応のキャプチャーデバイスを使用する1つの場合の物です。キャプチャーデバイスを複数使用した際の必須環境と推奨環境ではありません。キャプチャーデバイスやキャプチャーソフトウェアを複数使用した際の推奨環境に関しては弊社Webページにてご確認ください。

ビデオキーパー2はintel Quick Sync Videoに対応しています

1080pなど高い解像度でキャプチャーする場合はintel社CPU内蔵のGPUによるエンコード支援機能「Intel Quick Sync Video」の使用をお勧めします。intel Quick Sync Videoを使用すると約20~30%程度CPUへの負担を軽減することができます。パソコンがintel Quick Sync Videoに対応している場合に利用いただけます。intel Quick Sync Video対応のデスクトップCPUとチップセットに関しては下記となります。新しいCPUやチップセットが発売された場合は弊社Webページにて対応をご確認ください。

- intel 第2/3世代Core i シリーズのCPUを搭載の機種
●intel HD Graphics 2000,2500,3000,4000以上のグラフィック機能内蔵の機種
●intel チップセット、H61,H67,H77,H77,Z68,Z77,Q77,B75

※パソコンの性能やご利用環境、BIOSの設定によっては、この機能を利用できない場合があります。
※第1世代Core i シリーズ以前のCPU、intel社以外のメーカーのCPUやチップセット、intel社のX79、X58、P67チップセット及びそれ以前のチップセットではintel Quick Sync Video機能はご利用いただけません。また、Xeon,Celeron,Pentium CPUもintel Quick Sync Video機能をご利用いただけません。ビデオキーパー2は「ハードウェア」モード(ビデオカード)などでnVidiaやAMDなどのビデオ機能をご利用の場合、これらハードウェア側のグラフィック機能が内蔵されたパソコンでは、intel Quick Sync Video機能を使用できません。なお、現在、LucidLogix社のVirtuoには対応していません。
※DIYのパソコンなどをご利用で、CPUを交換するなどの場合は、intel Quick Sync Video機能が利用できなくなる場合があります。この様な症状が発生した場合は、intel社のグラフィック機能のドライバーを再インストールしてください。

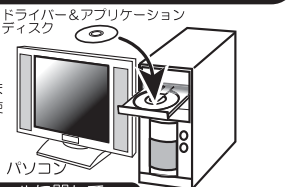
※intel Quick Sync Videoをご利用の際は、intel社の最新グラフィックドライバーをご利用ください。

ビデオキーパー2ご使用時の注意事項

- ※Windowsのサーバーエディションでの動作は確認しておりません。
※サーバー専用パソコンや、ワークステーション仕様のパソコン(及びチップセット)なお業務用パソコンではパソコン側のBIOS制限などによりキャプチャー機能を利用しただけの場合があります。業務でのご利用などを検討されているお客様は、採用予定のパソコンで、必ず事前の動作確認を行ってから導入することをお勧めします。
※ハードウェアオーバーレイがオンの際は、CPUの負担は軽減されますが、プレビュー画面にティアリングが発生することがあります。ハードウェアオーバーレイはできるだけ「オフ」でご利用ください。
※ソフトウェアによる圧縮処理のため、固定フレームレートでの動作を保証するものではありません。
※パソコンのハードウェア環境によっては快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
※本製品は録画時にソフトウェアによるH.264エンコード処理を行うため、パソコンのCPU/リソースを著しく消費します。このため複雑なアプリケーションや他のアプリケーションでCPUの使用率が高い場合は快適なキャプチャーを行うことができない場合があります。
※ビデオキーパー2では対応キャプチャーデバイスを2枚使用することで、2画面まで録画(同時に録画)が可能です。2画面録画には高速なCPUなどが必要になります。2画面録画時の推奨環境は、弊社Webページにてご確認ください。なお、録画される映像は個別の動画ファイルとして記録されるため、同時に再生することはできません。録画した映像の再生にはWindowsMediaPlayerなどをご利用ください。

ドライバーとビデオキーパー2のインストール

インストール作業は対応するキャプチャーデバイスの取り付け作業が完了した後に行ってください。ドライバーとアプリケーション(ビデオキーパー2)のインストールは、付属のCD-ROMディスクをパソコンのCD-ROMドライブに挿入しドライブを開くと自動で開始することができます。インストール作業はWindowsが完全に起動した状態で、使用中の他のアプリケーションを終了した状態で行ってください。インストールが開始されたら画面の指示に従ってインストールを進めてください。



ドライバーとアプリケーションのインストールに関して

同梱のCD-ROMのインストーラーでは、ドライバーとアプリケーション(ビデオキーパー2)を順次インストールしますが、それぞれのインストールに、少々時間がかかる場合があります。アプリケーションのインストールが完全に完了するまでドライブからCD-ROMを取り出さないでください。

インストールの中止に関して

インストール中に何らかの理由で、ドライバーのインストールを中止(キャンセル)しても、その後アプリケーションのインストールが自動で実行されます。このため、ドライバーのインストールを中止しても、すでにCD-ROMディスクを取り出す、ビデオキーパー2のインストールを中止(キャンセル)した後、CD-ROMドライブのアクセスが無いことを確認して、CD-ROMディスクを取り出してください。途中でCD-ROMを取り出すと「ディスクが見つかりません」などのエラーメッセージが表示される場合があります。なお、インストールを中止した場合もパソコンの再起動を要求される場合があります。

ビデオキーパー2の削除(アンインストール)

ビデオキーパー2のアンインストールは、専用のアンインストーラーを使用してください。アンインストールが開始されたら画面の指示に従ってください(パソコンの再起動が必要になる場合があります)。

- Windows7: アンインストーラーはスタート・メニューの「すべてのプログラム」->「VideoKeeper2」内にあります。
Windows8: コントロールパネル内の「プログラム」->「プログラムのアンインストール」からアンインストールしてください(または「プログラムと機能」の「プログラムのアンインストールまたは変更」からアンインストールしてください)。

ビデオキーパー2の起動

インストールが完了したら、ビデオキーパー2を起動して、動作をご確認ください。

Two screenshots showing Windows 7 and Windows 8 Start menus with VideoKeeper2 icons. Includes a 'VK' logo and a 'Start' button icon.

キャプチャーデバイスが認識されない場合(問題がある場合)はプレビューに図1のマークが表示されます(図1のマークが表示された場合、これらのキャプチャーデバイスが接続されていないか、正しくインストールされていない可能性があります)。キャプチャーデバイスを正しく認識できない場合(なおかつ映像が入力されていない場合、または認識できない信号が入力された場合)は、プレビューに図2のマークが表示されます。図2のマークが表示された場合、インストーラーは正常に完了しています。念のため、プレビューウィンドウなどから入力切替ボタンをクリックするなどし、映像や音声が入力されているチャンネルを選択し、正しくキャプチャーできていることを確認してください。

デスクトップパソコンで、弊社製「SC-500N1/DVI」をご利用のお客様へ

●SC-500N1/DVIに付属の「ビデオキーパー (Ver1)」は、本ドライバーやアプリケーションと同時にご利用頂くことができます。すでに「ビデオキーパー (Ver1)」がパソコンにインストールされている場合は、一旦それをアンインストールした後、本CD-ROMに含まれるドライバーとアプリケーション(ビデオキーパー2)をご利用ください。なお、SC-500N1/DVIのドライバーは弊社Webページに公開中の最新のものをご利用ください。

Windows Live Messengerをご利用のお客様へ

Windows Live Messengerの一部の制御ファイルは本製品の動作に影響を及ぼすことがあり、Windows Live Messengerを使用すると、アプリケーションが正しく動作しないことがあります。Windows Live Messengerはパソコンから削除するなどし、改めてドライバーとアプリケーションを再インストールしてください。

ビデオキーパー 2 の機能 (プレビューウィンドウ)

ビデオキーパー 2 の各部名称と機能は下記ようになります。

録画マーク、タイムカウンター 録画中であることを示すマークです。録画中に録画時間が表示されます。

状態表示 入力解像度とフレームレート (fps)、GPU 支援機能の有無が表示されます。

最小化ボタン (緑) ビデオキーパー 2 を最小化してタスクバーに収納します。

最大化ボタン (黄) ビデオキーパー 2 のウィンドウをフルで表示するか、ウィンドウ画面で表示するかを選択できます。

終了ボタン (赤) ビデオキーパー 2 を終了します。

タイトル表示 使用しているボードと入力チャンネルが表示されます。

プレビュー画面 キャプチャー映像が表示される部分です。ここをダブルクリックするとプレビュー画面のウィンドウ表示とフル表示を切り替えます。

入力切替ボタン 入力される信号のチャンネルを選択できます。

静止画 BMP ボタン 静止画を記録するためのボタンです。BMP 方式で保存します。

静止画 JPG ボタン 静止画を記録するためのボタンです。JPEG 方式で保存します。

録画・停止ボタン 動画を録画 / 停止することができるボタンです。1 画面表示の時は、現在プレビュー表示しているデバイスの映像を録画します。2 画面表示の時は、2 画面の映像を同時に (個別のファイルで) 録画します。

表示切替ボタン キャプチャーデバイスが 2 つ (A または B) 有る場合にもう一つのデバイスの画面を入れ替えて表示するボタンです。

設定ボタン 様々な設定を行うためのダイアログボックス (設定) を表示する事ができます。

ミュート プレビュー時の音声を消音にするボタンです。

音量 プレビュー時の音量を調整する部分です。

プレビュー画面の表示順序の解説

パソコンにキャプチャーデバイスが 2 台接続されている場合は、1 画面表示で切り替えて表示したり、2 画面でプレビュー、録画することができます。1 画面表示 / 2 画面表示の切り替えは、ダイアログボックスの、「起動設定」から設定可能です。

1 画面表示 (標準) 1 画面のみ表示するモードです。表示切替ボタンで二つの画面を切り替えて表示することができます。録画、静止画も表示している画面のみ可能です。1 画面しか利用しない場合や、2 画面同時録画が必要なときに使用します。録画中にこの操作を行うと録画は中断されますのでご注意ください。

横表示 二つの画面を水平に表示します。表示切替ボタンで画面の左右を入れ替えることができます。

縦表示 二つの画面を垂直に表示します。表示切替ボタンで画面の上下を入れ替えることができます。

※注意: 2 画面表示を行っていても、一方の映像が未入力の場合は 2 画面同時録画はできません。また、なんらかの原因で一方の映像が欠けた場合は、録画が停止されます。録画を継続させたい場合は「特殊録画」の機能を使用してください。

ビデオキーパー 2 の機能 (設定ダイアログ・ボックス その 1)

起動設定

ビデオキーパー 2 では、キャプチャーデバイスが 2 台接続した時のために 2 画面での表示が可能です。また、起動したときの表示の順序を設定できます。横方向に画面を並べ、縦方向に画面を並べることができます。また、二つの画面を入れ替えることができます。

--- [2画面表示] ---

2枚のキャプチャーデバイスの映像を同時にキャプチャーする場合は、このチェックボックスを有効にしてください。このチェックボックスが有効のとき、下記「表示順序」の設定を利用することができます。

表示順序

横表示

ボード A	ボード B
ボード B	ボード A

縦表示

ボード A	ボード B
ボード B	ボード A

設定変更を中止します。 設定変更を決定します。

設定をデフォルト (標準) に戻します。

Video/S 信号設定

ビデオ (コンポジット・ビデオ) や S ビデオ信号の信号方式を選択することができます。ビデオや S ビデオの入力が可能なキャプチャーデバイスで使用します。

Video/S 信号設定

NTSC NTSC 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

参考: 日本国内向けに販売される機器は NTSC 方式です。

PAL PAL 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

PAL60 PAL60 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

PAL M PAL M 方式のゲーム機や映像機器の映像信号を入力する際に選択します。

参考

上記の設定は、ビデオ端子や S ビデオ端子から映像を入力する際の信号方式の選択です。コンポーネント・ビデオや RGB など他の入力には反映されません。

※PAL M と PAL60 はインターレース映像のみ対応しています。PAL M と PAL60 の擬似インターレース (ノンインターレース [240p]) での動作は確認しておりません。

ビデオキーパー 2 の機能 (設定ダイアログ・ボックス その 2)

チャンネル設定 (ボード A / ボード B)

--- <入力チャンネル> ---

入力信号のチャンネルを選択することができます。コンポーネント・コンポーネント・ビデオ信号のチャンネルを選択します。DVI-D DVI-D 信号のチャンネルを選択します。RGB RGB 信号 (アナログ RGB) のチャンネルを選択します。HDMI HDMI 信号のチャンネルを選択します。ビデオ ビデオ信号 (コンポジット・ビデオ) のチャンネルを選択します。S ビデオ S ビデオ信号のチャンネルを選択します。

※ご利用のキャプチャーデバイスに無い端子は選択できません。

--- <アスペクト> ---

キャプチャー画面のアスペクト (画面比率) を選択することができます。

標準 キャプチャー映像を標準のアスペクト (画面比率) で表示します。

16:9 キャプチャー映像を 16:9 (ワイド) のアスペクト (画面比率) で表示します。

4:3 キャプチャー映像を 4:3 (ノーマル) のアスペクト (画面比率) で表示します。

※録画・静止画は常に標準のアスペクトで記録されます。

--- <デ・インターレース> ---

入力映像がインターレース方式の時、映像をプログレッシブ化 (60i→30p 変換処理) する際の映像処理の度合いを選択できます。

高 映像の鮮明度は低下しますが、動きの激しい映像でも、画像が「くし形」になりません。

中 「高」に比べ映像の鮮明度は向上しますが、動きの激しい映像で、若干画像が「くし形」になります。

低 映像は鮮明ですが、画像がくし形になります。

--- その他の設定 ---

--- <言語設定> ---

日本語 ビデオキーパー 2 のメッセージや文字表示を日本語に設定します。

English ビデオキーパー 2 のメッセージや文字表示を英語に設定します。

--- <GPU 支援機能> ---

Intel 社の CPU に内蔵の GPU 支援機能を利用可能にします。プレビュー・ウィンドウのタイトルに「GPU: YES」と表示されているときに設定可能です。

--- <キーフレーム> ---

キーフレームを変更できます。

30 キーフレームを 30 に設定します。

60 キーフレームを 60 に設定します。

特殊録画設定 (ボード A / ボード B)

--- <特殊録画> ---

「特殊録画設定の状態」で録画」のチェックボックスを有効にすることで特殊録画の機能を使用することができます。標準は「オフ」です。

「オン」: 現在録画中の解像度、もしくは設定された解像度で録画を継続します。解像度が変わったり、入力信号が無くて無音状態でも解像度固定で録画が継続されます (映像信号が無いときは「NOSYNC」の画像を録画します)。

「オフ」: 入力信号が無くなった時解像度が変化すると録画は中断されます。特殊録画の解像度に関する設定を行うことができます。

「入力解像度優先」: すでに映像が入力されているときは映像信号が途切れても入力されていた信号と同じ解像度で録画を継続します。映像信号が最初から無いときは、指定された解像度で録画します。

「設定解像度優先」: 指定された解像度で録画します。

特殊録画の際の映像解像度 (画面のサイズ) と音声解像度などを入力チャンネルごとに指定できます。

※利用可能な解像度は、本設定で選択可能な解像度のみになります。

※「音入チャンネル」の設定は、必ず「音声設定 (ボード A / ボード B)」と同じ設定にしてください。

※特殊録画はどのような状況でも正常な動作を保証するものではありません。入力される信号の特性や映像・音声が変わるタイミングによっては録画を継続しない場合があります。

ビデオキーパー 2 の機能 (設定ダイアログ・ボックス その 3)

保存場所と名前の設定

--- <動画保存場所 / 静止画保存場所> ---

録画データと静止画データの保存先を指定します。

--- <プロジェクト名をファイル名に追加> ---

プロジェクトや企画別にファイルを識別したい時、ファイル名にプロジェクト名を追加することができます。プロジェクト名を記入後は、チェックボックスを有効にしてください。

--- <担当者をファイル名に追加> ---

担当者がファイルを識別したい時、ファイル名に担当者名を追加することができます。担当者名を記入後は、チェックボックスを有効にしてください。

音声設定 (ボード A / ボード B)

--- <HDMI 音声方式> ---

入力チャンネルが HDMI の時、アナログとデジタルどちらの音声を使用するかを選択することができます。※HDMI 端子の無いキャプチャーデバイスでは使用できません。

アナログ コンポーネント・ビデオ+アナログ音声入力端子から入力されるアナログ音声を使用します。

デジタル HDMI 入力端子から入力されるデジタル音声を使用します。

--- <DVI 音声方式> ---

入力チャンネルが DVI (DVI-D) の時、アナログとデジタルどちらの音声を使用するかを選択することができます。※DVI 端子の無いキャプチャーデバイスでは使用できません。

アナログ コンポーネント・ビデオ+アナログ音声入力端子から入力されるアナログ音声を使用します。

デジタル DVI 入力端子から入力されるデジタル音声を使用します。

キャプチャー設定 (ボード A / ボード B)

--- <録画品質> ---

録画時のビットレート (画質) を選択することができます。高 高画質で録画することができます。録画したデータ容量は大きくなります。中 標準的な画質で録画することができます。録画したデータ容量は小さくなります。低 低画質で録画することができます。録画したデータ容量は小さくなります。

手動 ユーザーが任意にビットレートを指定可能です。 ※単位は Mbps

	高	中	低
水平 720 ~ 1024 ピクセル	8	6.875	5.675
水平 1280 ~ 1440 ピクセル	14	12	10
水平 1920 ピクセル	20	18	16

※録画中に録画品質を変更しても設定は反映されません。録画を行っている状態では設定を変更し、ビデオキーパー 2 を再起動してください。

--- <静止画品質 (JPG)> ---

静止画 (JPEG) 撮影時の画質を選択することができます。

高 高画質で撮影することができます。100%の設定 (画質優先) で JPEG 圧縮します。

中 標準画質で撮影することができます。80%の設定で JPEG 圧縮します。

低 低画質で撮影することができます。50%の設定で JPEG 圧縮します。